

外来植物ナガミヒナゲシが鎌倉市内でも繁殖し勢力を広げています。ご注意ください!

ナガミヒナゲシは ポピーによく似た花びらがオレンジ色の草花です。繁殖力が強く 周辺の生態系に悪影響を及ぼすおそれがあるので 早期の駆除が有効です。

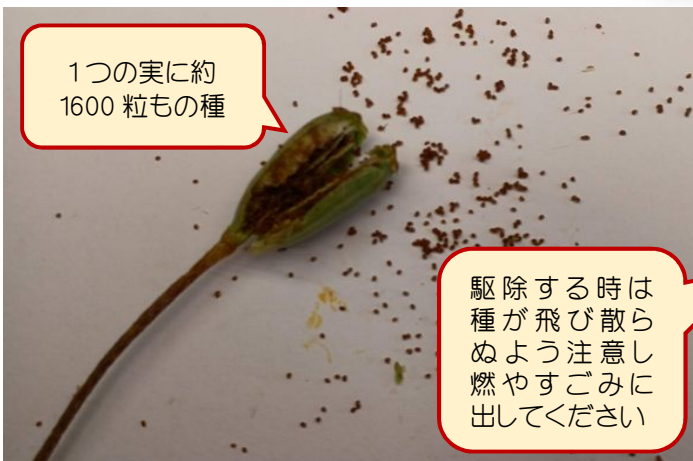
【ナガミヒナゲシ(長実雛芥子)の特徴と駆除 私たちにできること】

最近外来植物ナガミヒナゲシが市内でも道ばたや空き地などで急速な広がりを見せています。花の時期は 4 月から 5 月 花びらは4枚で種ができる前に駆除するのがベストです。花が終わった後 細長い実になり約 1600 粒もの種ができ 驚くほどの種の多さが繁殖力につながる特徴をもっています。また根から他の植物の生育を妨げる成分を出すなど 生態系にも影響を与えかねません。

- ヨーロッパ原産の外来植物です。日当たりの良いところを好み どんな土でも育ち 国内に拡散し 鎌倉市内でも増えています。
- 葉は春菊に似ていて 冬期はタンポポのように地面に這いつくばり 葉っぱを広げます。
- 最近拡散防止に力を入れている自治体が増えています。



花が咲いた後にできた実



1つの実に約1600粒もの種

駆除する時は種が飛び散らぬよう注意し 燃やすごみに出してください



種が広がる仕組み

完熟したら実のふたの部分がめくれ その隙間からケシ粒状で 極小の種がこぼれ落ち 車のタイヤ 靴底等に付着して広がります

【駆除するときの注意点】

- 駆除する時期 花が咲き実が未熟な時期の 4 月頃まで駆除するのが最適です。
- 駆除するとき 折れた茎から出る液で皮膚がかぶれることがあるので 作業時は 長袖と作業手袋を着用し 根っこから引き抜くようにしましょう。
- 駆除後の処理 ビニール袋に入れ口をしぼり 燃やすごみの日に出してください。

鎌倉市環境保全課・鎌倉を美しくする会

【問合せ先】 鎌倉市 0467(61)3389 / bika@city.kamakura.kanagawa.jp